研究課題名	緑内障の治療成績に関する多機関共同後向き観察研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学　教授　木内良明
研究期間	2022 年 11 月(許可日)～　2025 年　3 月

対象者

2016 年 4 月から 2025 年 3 月の間に、広島大学病院眼科で緑内障による進行防止のための眼圧下降治療を施行した患者さん。また緑内障を伴わない白内障に対して超音波水晶体乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術を行った患者さん。

意義・目的

緑内障では進行防止のための眼圧下降治療として、点眼薬、レーザー(線維柱帯、虹彩)、外科的手術(超音波水晶体入荷吸引術＋眼内レンズ挿入術、線維柱帯切開術、iStent 挿入術、Ahmed valve 挿入術、線維柱帯切除術、濾過法再建術など)が行われます。本研究の目的はこれらの治療法による治療成績を比較検討することです。

方法

緑内障では進行防止のための眼圧下降治療として施行された、点眼薬、レーザー(線維柱帯、虹彩)、外科的手術(超音波水晶体入荷吸引術＋眼内レンズ挿入術、線維柱帯切開術、iStent 挿入術、Ahmed valve 挿入術、線維柱帯切除術、濾過法再建術など)の治療法による治療成績を比較検討することです。比較検討項目は、眼圧(ゴールドマン圧平眼圧、iCare 眼圧計、Ocular Response Analyzer 眼圧計、Corvis iCare 眼圧計、空圧式 iCare 眼圧計など)、Ocular Response Analyzer 眼圧計や Corvis iCare 眼圧計による角膜生体力学特性、視野、視力、屈折、光干渉断層計による網膜層厚、点眼内容などです。比較対象として緑内障を伴わない白内障に対して超音波水晶体乳化吸引術＋眼内レンズ挿入術を行った症例についても同様のデータを解析し、比較検討します。

上述のデータを診療録から転記する際に、氏名や住所などの個人が特定できる情報を削除し、誰のデータか分からないよう加工した上で、研究機関の長(田中純子)の許可のもと聖隷浜松病院眼科にメールで提供します。

共同研究機関

(研究代表者)聖隷浜松病院眼科　朝岡　亮
島根大学医学部付属病院、広島大学病院、三栄会ツカザキ病院眼科

聖隷浜松病院眼科に情報を集め、解析します。

試料・情報の管理責任者

聖隷浜松病院眼科　朝岡　亮

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表され

たり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3
Tel:082-257-5247
広島大学病院眼科 職名医師 望月 司

研究機関:広島大学